

平成29年度

「国土交通大臣登録 鉄筋コンクリート造耐震診断資格者講習」 「鉄筋コンクリート造耐震改修技術者講習」開催のご案内

主催：国土交通大臣登録耐震診断資格者講習実施機関／一般財団法人日本建築防災協会

「建築物の耐震改修の促進に関する法律」（以下、「耐震改修促進法」）により、耐震診断結果の報告が義務付けられた要緊急安全確認大規模建築物及び要安全確認計画記載建築物の耐震診断は、「国土交通大臣登録耐震診断資格者講習」を受講修了した耐震診断資格者でなければできないこととされています。

■「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針・同解説」の改訂

本協会では、「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針・同解説」を1977年に発行し、1990年、2001年に改訂し発行してきましたが、その後改訂委員会（委員長：壁谷澤寿海 東京大学地震研究所教授）において検討が進められ、このたび16年ぶりに「2017年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針・同解説」として発行することとなりました。

今回の耐震診断基準の改訂については、形状指標、そで壁付き柱の評価法の見直しなど2001年以降に得られた新しい知見を取り入れています。また、耐震改修設計指針については、一般に用いられている改修工法のより適切な運用のための改訂を行っています。

■国土交通大臣登録耐震診断資格者講習並びに耐震改修技術者講習の開催

本協会は、「国土交通大臣登録 鉄筋コンクリート造耐震診断資格者講習」（以下「診断講習」）を実施するとともに、耐震診断実施後に建築物の耐震性を向上させるために実施する耐震改修を的確に行うために、耐震改修の考え方及び技術を習得するための鉄筋コンクリート造耐震改修技術者講習（以下「改修講習」）を合わせて2日間で開催いたします。「診断講習」及び「改修講習」の受講修了者には、それぞれ「講習修了証明書」を交付します。

新しい耐震診断・改修技術修得のため、既に耐震診断資格者になられている方も本講習を受講することが可能です。なお、耐震診断資格者そのものを対象とした任意の講習も予定しています。（2ページ下段参照）

「建築士会 CPD」（（公社）日本建築士会連合会）に参加されている建築士の方には、自動的に建築 CPD 情報提供制度認定講座（1日目は6単位（科目免除受講者は3単位）、2日目は5単位（いずれも予定））の単位が付与されますので、お申し込みの際に、氏名・フリガナ、建築士番号を正確に記入してください。また、改修講習は、（一社）日本建築構造技術者協会の J S C A 建築構造士登録更新のための評価点対象講習会（予定）です。詳細は J S C A の HP（<http://www.jsca.or.jp/>）の「会員ページ」内のお知らせを参照してください。

国土交通大臣登録 鉄筋コンクリート造耐震診断資格者講習（1日目）

1. 開催地・期日・会場・募集人数 ※会場の都合により募集人数を超えて、申込みを受付ける場合があります。

開催地	期 日	会 場	募集人数
東 京	平成29年7月3日（月）	連合会館 大会議室 千代田区神田駿河台3-2-11	250人
大 阪	平成29年7月26日（水）	大阪YMCA会館 2階ホール 大阪市西区土佐堀1-5-6	200人
東京②	平成29年8月3日（木）	笹川記念会館 第1・2合同会議室 港区三田3-12-12	150人
福 岡	平成29年8月29日（火）	九州ビル 9Fホール 福岡市博多区博多駅南1-8-31	150人

2. 受講資格（耐震改修促進法施行規則第8条第1項第1号による。）

一級建築士、二級建築士

※科目一部免除：構造設計一級建築士は、「建築物の耐震診断総論」及び「例題演習」が希望により免除となります。なお、構造設計一級建築士の方が全科目受講することも可能ですが、通常の実講料となります。

3. 受講料（テキスト代別）

19,440円（科目免除受講者 16,200円）（税込）※既納の実講料は、ご返金いたしません。

4. 講習科目及び時間割（耐震改修促進法施行規則第10条第3号による。）

講 習 科 目	講習時間（単位：時間）	時 間 割
—	—	開会・説明 9:30～9:40
建築物の耐震診断総論	1.0	9:40～10:40
鉄筋コンクリート造の建築物の耐震診断の方法	3.0	10:50～12:00、12:50～14:40
例題演習	2.0	14:50～16:50

鉄筋コンクリート造耐震改修技術者講習（2日目）

1. 開催地・期日・会場・募集人数 ※会場の都合により募集人数を超えて、申込みを受付ける場合があります。

開催地	期 日	会 場	定 員
東 京	平成29年7月4日（火）	連合会館 大会議室 千代田区神田駿河台3-2-11	250人
大 阪	平成29年7月27日（木）	大阪YMCA会館 2階ホール 大阪市西区土佐堀1-5-6	200人
東京②	平成29年8月4日（金）	笹川記念会館 第1・2合同会議室 港区三田3-12-12	150人
福 岡	平成29年8月30日（水）	九州ビル 9Fホール 福岡市博多区博多駅南1-8-31	150人

2. 受講資格

一級建築士、二級建築士

3. 受講料（テキスト代別）

9,720円（税込） ※既納の受講料は、ご返金いたしません。

4. 講習科目及び時間割

講 習 科 目	講習時間（時間）	時 間 割
開会	—	9:45～9:50
既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針の解説	2. 0	9:50～12:00（10分間休憩含む。）
補強工事の施工及び耐震改修事例の解説	2. 5	13:00～15:40（10分間休憩含む。）

後援（予定）

国土交通省、日本建築行政会議、（一社）日本建築学会、（公社）日本建築士会連合会、（一社）日本建築士事務所協会連合会、（一社）日本建築構造技術者協会、（一社）日本建設業連合会、（公社）ロングライフビル推進協会、（一社）全国建設業協会、既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会、建築物防災推進協議会
開催地：都道府県、建築士会、建築士事務所協会、建設業協会、建築防災関係地域法人

5. テキスト及びテキスト代

「2017年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針・同解説」（3分冊（以下のRC-1、RC-2及びRC-3））（平成29年7月1日発行） 15,120円（税込）

RC-1：2017年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説

RC-2：2017年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針・同解説

RC-3：2017年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針適用の手引

上記3分冊セットには、付録で「2017年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針 改訂の要点」が含まれます。

ただし、1日目の診断講習のみの受講で、RC-2が不要の場合のテキスト代 11,880円（税込）

講習会名	使用テキスト
国土交通大臣登録 鉄筋コンクリート造耐震診断資格者講習	RC-1、RC-3
鉄筋コンクリート造耐震改修技術者講習	RC-2、RC-3

-ご案内「2017年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針・同解説」改訂講習の開催-

今回ご案内している耐震改修促進法に基づく平成29年度「国土交通大臣登録 鉄筋コンクリート造耐震診断資格者講習」及び「鉄筋コンクリート造耐震改修技術者講習」とは別に、耐震診断資格者その他を対象とした任意の「2017年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針・同解説」改訂講習を開催する予定です。

耐震診断基準及び耐震改修設計指針の改訂の内容を解説する1日間の講習で、9月頃から全国主要都市で開催する予定です。

詳細については、6月頃ご案内する予定です。本協会ホームページまたは、メールマガジンをご覧ください。

6. 申込み方法

本協会ホームページ（検定・講習 <http://www.kenchiku-bosai.or.jp/workshop/>）から基本情報をデータ入力し、入力内容が反映された申込書を印刷し、「7. 申込に必要な書類」を添付の上、ご郵送ください。

手順については次頁の **申込み方法（詳細）** を参照してください。

7. 申込に必要な書類

診断講習

- ① 受講申込書（ホームページよりダウンロード）
 - ・写真（縦4.5cm×横3.5cm、6ヶ月以内に撮影したもの）
 - ・必ず氏名を楷書で自署して下さい。
 - ・一級建築士・構造設計一級建築士登録については、日本建築防災協会が確認をいたしますので、確認欄の“承諾する”にレ印を記載して下さい。
- ② 建築士免許証または建築士免許証明書（以下、建築士免許証）の写し
- ③ 二級建築士の方は、建築士登録証明書（原本）
- ④ 本人確認の書類で、次のうち何れかの書類の写し
 - ・運転免許証（各都道府県公安委員会発行のもの（国際運転免許証は除く））
 - ・日本国パスポート
 - ・住民基本台帳（顔写真が記載されているもの）
 - ・外国人登録証明書（在留資格のあるもので、在留期限まで90日以上あるもの）
 - ・健康保険証に加え、住民票または外国人登録原票記載事項証明書（住民票、外国人登録原票記載事項証明書は、発行日から3箇月以内で、現住所が記載されているもの）
- ⑤ 構造設計一級建築士証の写し 科目一部免除で受講する場合

改修講習（診断講習と改修講習を両方申込みの方は、以下の書類は別途には不要です。）

- ① 受講申込書（ホームページよりダウンロード）
- ② 建築士免許証または建築士免許証明書（以下、建築士免許証）の写し
- ③ 二級建築士の方は、建築士登録証明書（原本）
- ④ 本人確認の書類で、次のうち何れかの書類の写し
 - ・運転免許証（各都道府県公安委員会発行のもの（国際運転免許証は除く））
 - ・日本国パスポート
 - ・住民基本台帳（顔写真が記載されているもの）
 - ・外国人登録証明書（在留資格のあるもので、在留期限まで90日以上あるもの）
 - ・健康保険証に加え、住民票または外国人登録原票記載事項証明書（住民票、外国人登録原票記載事項証明書は、発行日から3箇月以内で、現住所が記載されているもの）

8. 受付期間

平成29年5月10日（水）～平成29年6月9日（金）（消印有効）

ただし、締め切り期日前でも定員に達した場合締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

9. その他

- ・お支払いいただいた受講料は、当方の都合により受講をお断りする場合を除いてご返金いたしません。なお、受講資格がないと判明した場合は、お支払いいただいた受講料を返金いたします。
- ・テキストを希望して当日欠席された方には後日テキストを送付いたします。
- ・構造設計一級建築士は、各構造講習科目のうち「建築物の耐震診断総論」及び「例題演習」が希望により、免除となります。申込み時に全科目受講（受講料19,440円）または、一部科目免除受講（受講料16,200円）を選択してください。申込み後の全科目受講から一部科目免除受講への変更は差額の返金はいたしません。

10. 送付先・問い合わせ先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-20 虎ノ門YHKビル3F

一般財団法人日本建築防災協会 耐震診断講習係 TEL 03-5512-6451

申込方法（詳細）

本協会ホームページ（検定・講習 <http://www.kenchiku-bosai.or.jp/workshop/>）へアクセスしてください。

申込み手順について

① 講習会選択

① 講習申込ボタンの選択

本協会ホームページの申込画面より、講習申込ボタン→「申込書にインターネットで入力する方はこちらへ」→「登録耐震診断資格者講習・耐震改修技術者講習」を選択してください。

② 基本情報の登録

② 基本情報の登録

氏名、生年月日等の基本情報を入力してください。他の「講習」を受講される場合も基本情報の登録をすれば、この情報が利用できます。

③ 会場・講習日の選択

③ 会場・講習日の選択

- ・会場の選択：会場の選択をしてください。
- ・受講料：構造設計一級建築士の方で科目一部免除をご希望の場合は、受講料で科目免除を選択し、構造設計一級建築士番号を入力してください。
- ・テキストの選択：ご希望のテキストを選択してください。
- ・ご入金金額の確認をしてください。

④ 支払い方法の選択

④ 支払い方法の選択

受講料、テキスト代についての支払い方法を選択してください。

⑤ 申込み内容の確認

⑤ 申込み内容の確認

表示された申込み内容の確認をしてください。

⑥ 受講申込書をダウンロードする

⑥ 受講申込書をダウンロード、印刷する

受講申込書をダウンロードし印刷の上、「1. 記入日」と「1 2. 受講者氏名（署名）」と「1 3. 建築士資格の確認」欄にレ印を記入してください。他の必要書類（7. 申込みに必要な書類を参照）とともに「1 0. 送付先・問い合わせ先」に郵送してください。

（ご注意）

※ホームページへの入力のみでは、申込みは完了しません。必要書類一式を郵送してください。

※インターネット接続環境に無い方は、1 0. 送付先・問い合わせ先までお問合せください。

送付先をご確認の上、受講申込書をFAXもしくはご郵送させていただきます。